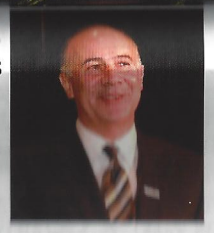
ipw (INTERNATIONAL POWWOW)　LAS VEGAS

POWWOW 2013、ラスベガスで開催

今年のアメリカ最大の旅行見本市「インターナショナル・パウワウ2013(IPW2013)」は6月10日から12日までネバダ州ラスベガスで開催された。2012年のアメリカへの海外旅行者数は前年より430万人増え、6,700万人と過去最高を記録。好調なインバウンド市場を受け、IPW2013も熱気にあふれ、活発に商談が行われた。来年のIPW2014は4月5日から9日にかけてシカゴで開催される。

好調なアメリカ・インバウンド市場
年々拡大する全米最大の旅行見本市

「今年の IPW は過去最大の規模となった」と、ブランド USA とのパートナーシップによって、ターゲットに加えて、メキシコ、ブラジル、韓国、ドイツ、中国をターゲットとしたプロモーション活動も開始する。



オーランド観光局のジョージ・アグエルCEO（写真）はIPW2013の会見で、「オーランドはテーマパーク・キャピタルとして全米一の観光デスティネーション」と話し、ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート、ユニバーサル・オーランド・リゾート、シーワールド・オーランドなど人気パークを持つオーランドの強みをアピールした。2012年の旅行者数は前年比4.9%増の5,700万人となり、過去最高を記録。アグエル氏は国際市場について、カナダ、英国、ブラジルの上位3市場に加えて、「日本、中国、インドでのプロモーションも強めていく」と話した。

オーランドでは中央フロリダの観光開発に50億米ドルを投資。さらに、2018年にかけてオーランド国際空港の拡張に21億米ドルを投じる。これにより、新たに16ゲートが追加されるほか、旅客の動線も改善されると期待されている。また、今年の夏には、入国審査時間の短縮を狙って、全米ではじめセルフサービス入国手続きシステムのテストを開始する。

テーマパーク関連の新しい情報としては、まずウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートでは、マジック・キングダムの拡張が開始。来年新規オープンする予定だ。また、ダウンタウン・ディズニーも拡張され、新たにディズニー・スプリングスとして生まれ変わる。さらに、2014年12月には、リゾート内にフォーシーズンズ(434室予定)がオープンする予定だ。

ユニバーサル・オーランド・リゾートでは、今年6月20日に「トランスフォーマー:ザ・ライド3D」がオープンした。また、エスコート付きのガイドツアー「VIPエクスペリエンス」も人気。これに参加すれば、パーク内のライドやアトラクションを並ぶことなく楽しめるほか、指定ダイニングでの食事や商品の割引も受けられる。ツアー参加は最大12名まで可能だ。

テーマパーク以外では、今年7月からケネディー・スペース・センターで展示が始まるスペースシャトル「アトランティス」も注目。間近で機体が見られるほか、ハッブル宇宙望遠鏡や国際宇宙ステーションなどスペースシャトル計画の内容も詳しく紹介される。

シカゴ　CHICAGO

2020年までに訪問者数5,000万人へ

シカゴ観光局(Choose Chicago)のドナルド・ウェルシュCEO（写真）はIPW2013の記者会見で、「シカゴは全米で有数の観光都市になるポテンシャルがある。2020年までに訪問者数5,000万人を目指す」と話し、今後さらに海外からの観光客誘致を積極的に進めていく考えを示した。2012年の実績は前年比6.1%増の4,620万人。そのうち、国内旅行者は同6.2%増の4,500万人、海外からの旅行者は同3.2%増の124万人となった。

市内のホテル稼働率も前年の72.2%を上回る75.2%。「ホテルの部屋数は訪問者数がピークだった2007年よりも163万室増えているが、高い稼働率を残した。観光がもたらす経済効果は非常に大きい」とウェルシュCEOは話す。前回IPWがシカゴで開催されたのは1998年。来年6年ぶりにシカゴ開催となるが、「その間にシカゴはさらに進化した。新しい5つ星ホテルが次々とオープンするなど、観光都市としてのクオリティーを高めている」と強調した。

観光スポットとしては、摩天楼を見上げるミレニアム・パーク、全面ガラス張りの展望台「ザ・レッジ」のあるスカイデッキが有名なほか、美術館や博物館が多く、ユニークな建築も林立することからアートの街としても知られている。

シカゴ観光局は2012年に新たに発足。日本を含む世界9ヶ所にオフィスを構え、海外市場でのセールスプロモーション活動も積極的に展開している。